

令和4年度公益財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	<p>新型コロナウイルス感染症予防を考慮し、犬のしつけ方教室及び犬・猫の飼い方講習会、動物ふれあい教室等を行った。</p> <p>1 講習会活動事業</p> <p>(1) 犬のしつけ方教室 犬のしつけ方について学んでもらい、基礎的なしつけ方のトレーニングを飼い犬とともに学んでもらった。 飼い主と飼い犬の良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬の育成を図った。</p> <p>(2) 犬・猫の飼い方講習会 飼育する場合の決まり事及び適正な飼育方法等について学習してもらい、飼い主と飼い犬・猫との良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬・猫の育成をすることにより、適正な飼養の普及を図った。</p> <p>2 動物愛護推進事業</p> <p>(1) 動物とのふれあい教室 新型コロナウイルス感染症予防を考慮し、定例の動物ふれあい教室等を実施した。 予約なしの来場者に対しては、ウサギ・モルモットへの餌やり体験を中心に実施した。</p> <p>(2) 犬・猫の譲渡会 収容された犬・猫で飼い主のわからなかったものについて、人の社会に順応できる犬・猫になるよう社会化を行い、事前に講習会を受講した譲渡条件に合う希望者に譲渡した。</p> <p>(3) 動物愛護週間関連事業 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、倉敷、赤磐、高梁、井笠、真庭の各地区において、獣医師会等との共催により、規模を縮小し、写真、パネル展示等を中心とした催しを行った。一部では犬のしつけ方教室、相談コーナー等が開設された。</p> <p>(4) ボランティアの募集及び育成・管理 ボランティア（ボランティア犬飼い主を含む）を希望する個人及び団体を募集した。趣旨に賛同する者に対してオリエンテーションを行い、ボランティア登録を行った。また、登録者に対しては研修会を開催した。</p> <p>(5) 北広場（ドッグラン）の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。</p> <p>(6) 親子向けイベントの開催 5月、8月に親子向けの物作り及び動物について学べる催しを開催した。</p> <p>(7) 譲渡犬の里帰り交流会 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催した。</p> <p>(8) 譲渡猫写真展の開催 譲渡猫の愛されている様子の写真を通して、動物愛護の啓発を行った。</p> <p>(9) 公開セミナー 「高齢犬との暮らしを楽しむために PART2」と題し、外部講師を招いて T タッチについてのセミナーを開催した。</p> <p>3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。</p> <p>4 広報活動</p> <p>(1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を図った。</p> <p>(2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資料、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、犬・猫の飼い方講習会、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。</p> <p>(3) ホームページの拡充 各種イベントの案内、犬・猫の譲渡に関する情報等の提供を行った。</p> <p>(4) 広報誌の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行し、岡山県各出先機関、市町村及び関係機関等に配付した。</p>	26,024,417

2	助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図った。	1,876,406
3	相談事業	1 電話・メール等による「動物なんでも相談」を行った。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発 動物愛護センターへ搬入される犬・猫の絶対数の減少に努めるとともに、不妊去勢手術を奨励し、動物愛護思想の啓発を行った。	429,499
4	調査研究事業	動物愛護や適正飼養にかかる調査研究のため、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行った。	678,379
5	収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行った。	83,982
6	財団法人の 管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。	1,556,823
合 計			30,649,506

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,978,238	10,074,730	△96,492
前払利息	108,657	108,657	0
商品	161,266	158,124	3,142
流動資産合計	10,248,161	10,341,511	△93,350
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	99,908,000	99,908,000	0
定期預金	92,000	92,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
普通預金	1,910,947	1,819,854	91,093
普通預金	1,255,016	1,004,007	251,009
特定資産合計	3,165,963	2,823,861	342,102
(3) その他固定資産			
什器備品	3,147,020	2,793,020	354,000
什器備品減価償却累計額	△2,717,103	△2,539,558	△177,545
電話加入権	30,000	30,000	0
投資有価証券	18,163,980	18,163,980	0
その他の固定資産合計	18,623,897	18,447,442	176,455
固定資産合計	121,789,860	121,271,303	518,557
資産合計	132,038,021	131,612,814	425,207
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,131,218	1,157,485	△26,267
流動負債合計	1,131,218	1,157,485	△26,267
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,131,218	1,157,485	△26,267
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2. 一般正味財産			
(1) 一般正味財産	30,906,803	130,455,329	△99,548,526
一般正味財産	30,906,803	130,455,329	△99,548,526
(うち基本財産への充当額)	0	100,000,000	△100,000,000
正味財産合計	130,906,803	130,455,329	451,474
負債及び正味財産合計	132,038,021	131,612,814	425,207

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	400,001	400,001	0
基本財産受取利息	400,001	400,001	0
受取会費	2,053,000	1,984,000	69,000
正会員受取会費	1,323,000	1,304,000	19,000
特別会員受取会費	730,000	680,000	50,000
事業収益	107,890	108,145	△255
販売品収益	107,890	108,145	△255
受取補助金等	27,740,000	28,326,000	△586,000
受取地方公共団体受託金	27,740,000	28,326,000	△586,000
受取寄付金	703,610	700,665	2,945
受取寄付金	703,610	700,665	2,945
手数料	6,300	106,050	△99,750
手数料	6,300	106,050	△99,750
雑収益	90,179	91,240	△1,061
受取利息	90,179	90,190	△11
雑収益	0	1,050	△1,050
経常収益計	31,100,980	31,716,101	△615,121
(2) 経常費用			
事業費	29,008,701	29,576,274	△567,573
給料手当	13,156,750	13,352,600	△195,850
臨時雇賃金	3,095,900	1,731,000	1,364,900
福利厚生費	2,835,921	2,758,113	77,808
教材費	179,247	193,329	△14,082
需用費	115,384	77,883	37,501
研修費	0	11,000	△11,000
諸謝金	38,700	15,559	23,141
助成費	447,000	486,000	△39,000
消耗品費	1,353,034	3,385,068	△2,032,034
印刷製本費	3,539,380	3,016,931	522,449
旅費交通費	11,950	12,425	△475
通信運搬費	1,229,865	1,471,091	△241,226
役務費	396,400	397,300	△900
租税公課	1,345,000	1,336,700	8,300
賃借料	417,332	409,462	7,870
保険料	158,170	131,290	26,880
負担金	520,000	520,000	0
手数料	0	117,600	△117,600
減価償却費	168,668	152,923	15,745
管理費	1,640,805	1,902,303	△261,498
給料手当	672,000	643,200	28,800
福利厚生費	99,314	98,492	822
需用費	222,228	519,393	△297,165
旅費交通費	56,440	68,480	△12,040
役務費	469,164	454,567	14,597
会議費	2,150	1,570	580
印刷製本費	18,700	23,628	△4,928
渉外費	0	1,947	△1,947
減価償却費	8,877	8,049	828

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
販売品仕入費	83,982	82,977	1,005
雑費	7,950	0	7,950
経常費用計	30,649,506	31,478,577	△829,071
評価損益調整前経常増減額	451,474	237,524	213,950
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	451,474	237,524	213,950
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
投資有価証券売却益	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	1	△1
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	1	△1
当期経常外増減額	0	△1	1
指定正味財産への振替額	△100,000,000	0	△100,000,000
当期一般正味財産増減額	△99,548,526	237,523	△99,786,049
一般正味財産増減額	△99,548,526	237,523	△99,786,049
一般正味財産期首残高	130,455,329	130,217,806	237,523
一般正味財産期末残高	30,906,803	130,455,329	△99,548,526
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産からの振替額	100,000,000	0	100,000,000
当期指定正味財産増減額	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	130,906,803	130,455,329	451,474

令和5年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室を開催する。 (2) 犬・猫の飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護推進事業 (1) 動物ふれあい教室を開催する。 (2) 犬・猫の譲渡会を開催する。 (3) 動物愛護週間事業を開催する。 (4) ボランティアの募集及び育成・管理を行う。 (5) ドッグランの利用を促進する。 (6) 親子を対象とした物づくり教室等を開催する。 (7) 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催する。 (8) 譲渡猫写真展を開催する。 (9) 犬・猫の終生飼養の必要性等を説いた公開セミナーを開催する。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 4 広報活動 (1) 犬・猫の正しい飼育管理等の啓発資料を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 (2) ホームページを拡充し、各種イベントの案内・申込み、各種情報の授受を行う。 (3) 定期広報誌を発行する。	26,599
2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図る。	2,552
3 相談事業	1 「動物なんでも相談」事業を実施する。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発を行う。	351
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のために、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行う。	606
5 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	150
6 公益財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	1,741
	合 計	31,999

令和5年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 収支予算書

(単位：千円)

科 目	5年度	4年度	増△減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	400	400	
ロ 受取会費			
正会員受取会費	1,300	1,300	
特別会員受取会費	700	650	50
ハ 事業収益			
販売収益	130	150	△ 20
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	27,840	27,740	100
ホ 受取寄附金			
受取寄附金	400	300	100
手数料		94	△ 94
ヘ 雑収益			
受取利息	90	90	
経常収益計	30,860	30,724	136
(2) 経常費用			
イ 事業費			
給与手当	12,321	13,765	△ 1,444
賃借料	2,891	1,912	979
福利厚生費	2,582	2,582	
教材費	190	180	10
需用費	120	103	17
研修費	80	50	30
諸謝金	50	40	10
助成費	740	740	
消耗品費	1,800	1,863	△ 63
備品費	100	100	
印刷製本費	4,090	4,040	50
旅費交通費	120	90	30
通信運搬費	1,680	1,340	340
役員費	500	500	
租税公課	1,400	1,400	
賃借料	600	430	170
保険料	130	120	10
負担金	520	520	
手数料		94	△ 94
減価償却費	194	113	81
ロ 管理費			
給与手当	688	705	△ 17
福利厚生費	103	103	
需用費	150	250	△ 100
旅費交通費	160	160	
役員費	450	450	
備品費	100	100	
租税公課	10	10	
会議費	20	20	
印刷製本費	30	30	
渉外費	20	20	
減価償却費	10	6	4
雑費	150	180	△ 30
経常費用計	31,999	32,016	△ 17
当期経常増減額	△ 1,139	△ 1,292	153
当期一般正味財産増減額	△ 1,139	△ 1,292	153
一般正味財産期首残高	30,907	104,429	△ 73,522
一般正味財産期末残高	29,768	103,137	△ 73,369
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	100,000		100,000
指定正味財産期末残高	100,000		100,000
正味財産期末残高	129,768	103,137	26,631